

現場で実践！

『育てながら勝つ』人材育成ガイド

～このS-P-D-CAが部下/チームの力を即効で伸ばす～

人事政策研究所 代表 望月 禎彦

●最適な指導法は足元から

現在の状況をプロ野球界に例えると、有望選手は皆、資金力旺盛な大手チームに採られてしまい、残ったのは小粒な選手ばかり、いったいどうやってこれで勝率5割を確保したらよいのやら…。これが中小企業監督の本音ではないかと思うのです。そんなときには流行りの新手法に飛びついて一発逆転を狙うよりも、自分たちの足元をよくよく見詰め直した人材育成法が重要です。

現場レベルでは、課せられた仕事の難しさや部下の習熟度などの環境条件によって、最適なリーダー像や指導方法は変わります。これを『パス・ゴール理論』と言います。この理論を望月流に、即行動しやすいように解説したのが本稿『育てながら勝つ』人材育成ガイドです（紙幅の都合上、書ききれないテーマ『志やビジョン』については触れていません）。部下を指導育成して、最終的にどういうチームにしたいのか。これはあらゆる職場の宿題です。まずは皆さん方ご自身が、読後じっくりと考えてみてください。



●望月 禎彦 (もちつき よしひこ)

1960年生まれ。立教大学卒業後、ユニ・チャーム株式会社にて営業を経験後、人事部にて採用、研修の実務を経験。92年独立。支援先を中堅企業に絞り、支援先企業が人事政策面で1人立ちできるよう徹底的に指導するのが特徴。「行動」をベースにした独自の理論を駆使し、「出来る人」を着実に増やし、成果につなげる。実際の支援先は20年間で300社を超える。

2000年には、そのノウハウを結実させたソフトウェア「コンペティンシーマスター」を、2010年には、人事評価ASPシステム『コンピリーダー』を開発し、ユーザー数は累計1,000企業にのぼる。その導入先は上海、台湾にも及んでいる。また講演では、コンスタントに年間1,000名超の経営者/マネージャーに実践ノウハウを提供。2011年には、20年間のノウハウを体系的に提供する塾形式の『望月人事クラブ』を主宰し、全国各地に「出来る人を増やす」活動を推進している。

人事政策研究所

〒146-0085 東京都大田区久が原6-8-19 TEL：03-5700-6830 URL：http://www.jinji-k.co.jp

目次

理論編 部下を持つ人が知っておくべき人事視点

- 大きな環境変化にどう対応するか
- 採用概論 ●教育概論 ●評価概論
- 人材育成の70%は実務で決まる
- 『自分プロジェクト』とは
- 事例紹介：メーカーA社
- 『自分プロジェクト』の効用

実践編 部下育成をS→P→D→CAで見直してみる

See：まず部下やチームの現状を知る

①業務分析-自業務・部下の業務を見直す

- ブルーオーシャン戦略活用事例
- 事例紹介1：販売会社B社
- 事例紹介2：介護施設C社
- 『心の壁』を破る

②部下の持ち味を知る

- 個性を確認する：「ソーシャルスタイル」
- 強みを確認する：テスト（アセスメント）の活用

Plan：計画を立ててみる

③中長期育成計画-サクセッションプラン

- <Off-JTに重きを置いたプラン例>
- <実務に重きを置いたプラン例>
- 『底上げ』する計画

④成長の測り方1-スキルマップ

⑤成長の測り方2-コンペティンシーランク表

Do：現場で教える／OJT

⑥できない部下を早く成長させる-行動分析学

⑦そこそこの部下を1人前にさせる-コーチング

Do：現場で教える／Off-JT

⑧読書のさせ方

- 読書のススメ ●上司リスト ●読書会

⑨e-ラーニングを活用してみる

Check&Action：振り返る

⑩上手な面談のやり方

⑪最強の振り返り方法-部下ノート

まとめ リーダーが自分の分身を育てるために